

平成 30 年度第 2 回市川町総合戦略会議（要旨）

会議名	第 2 回市川町総合戦略会議
開催日時	平成 31 年 2 月 27 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 50 分
開催場所	市川町役場 4 階相談室
出席者	委員：福田太志、前田宣博、田中基康、石田俊平、阪本浩之、 岩木和子、小野康裕、津田義和、楠田一利、村田敏朗 町：岩見町長、藤原副町長、尾花企画政策課長、広畑地域振興課長、 内藤企画政策課副課長、藤後課長補佐
会議の議題	1 開会 2 あいさつ 資料確認 3 経過報告 4 協議事項 (1)「市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」平成 30 年度の進捗状況 及び取り組みの評価について (2)ひょうご地域創生交付金事業 市川町駅施設等環境整備事業について 6 閉会
会議資料	総合戦略進捗管理シート【K P I 用】、・総合戦略進捗管理シート【事業費用】、転出者アンケート集計、神戸新聞記事（写し）、ちらし等（第 3 回市川町ゴルフまつりちらし、町営分譲宅地ひまわりコート東川辺ちらし、市川町の鶴 imo ちらし）、ふるさと納税平成 30 年度実績報告、(仮称) いちかわ東こども園完成予想鳥瞰図、福崎町連携コミバス時刻表、市川町・市川町商工会及び但陽信用金庫の包括連携に関する協定書、甘地駅・鶴居駅周辺地区まちづくり基本構想（策定検討資料）
協議要旨 企画政策課長	1 転出者アンケートについて 転出者を対象に行ったアンケートで、51 人から回答いただいたものを集計したもの。転出が多いのは男女とも 20 代で、理由としては就職や結婚が多くなっている。「市川町でも住まいを探したか？」という問いに対する回答では、4 件の方が市川町でも住まいを探したが他市町に決められたということが分かる。市川町が住みやすい点を尋ねたところ、自然環境が豊か 36 人、安全安心な場所 16 人、生まれ育った土地 28 人となっている。逆に市川町が住みにくいと感じる点を尋ねると、交通の便が悪い 24 人、仕事がない 15 人、買い物する店が少ない・遠い 30 人となっている。市川町の居住者を増やすために、どういうことに取り組み

<p>企画政策課長</p>	<p>いいと思うか、という問いに対しては、出産や子育て等に対する各種支援の充実 25、住宅を新築・改築する際の費用の一部を補助する制度 16、子どもたちの教育環境の充実 15、バスなどの町内を移動するための交通の利便性充実 14 という順になっている。</p> <p>(1)「市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」平成 30 年度の進捗状況及び取り組みの評価について</p> <p>総合戦略進捗管理シートについて説明</p> <p>No.1 総合戦略等の回数</p> <p>記載の会議に加えて橋本忍生誕 100 年を記念し、橋本忍シネマシナリオフェスティバルを開催した。</p> <p>No.2 ゴルフクラブ製造業者と連携した商品開発、イベント開催</p> <p>昨年 4 月 21 日にゴルフ祭りを開催し、来場者は 720 名、サンテレビ、神戸新聞、ゴルフダイジェストなどの雑誌等メディアでも紹介された。今年も 4 月 20 日第 3 回ゴルフ祭りを開催する（別添ちらし参照）。2 月 10 日にプレスリリース、本年は 1,000 人の来場を見込んでいる。前回の会議において、国産ゴルフアイアン発祥の地の PR として、他市町から来られた人が立ち寄れる施設やブースが要るのではないか、方向性は決まっているのか、という意見をいただいた。これについては、31 年度は国産ゴルフアイアン発祥の地拠点整備事業として基本計画の策定を行う予定。</p> <p>No.3 観光交流センターを拠点とした開発・販路拡大・PR 支援事業</p> <p>特に今年は地域ブランド会議に出席し、農産物を中心に情報提供を行い、笠形オーガニックの野菜販路拡大に向けた商談や、ひね鶏すき焼きの雑誌掲載などにつながった。また全国鍋グランプリにも出店し「鶴いも香るミルク鍋」をふるまった。</p> <p>No.7 ふるさと納税の推進</p> <p>前年度寄附者への暑中見舞いや年賀状により、リピーター確保に努める。また先進地視察として和歌山県湯浅町を訪問。ふるさと納税の状況については別紙参照。</p> <p>No.8～No.16 前回の会議で、農業離れが進んでいる、農業ができて食べていけない、農業を志す若者に農地を斡旋するようなマッチングができればいいのではないかと、など農業に関する意見を多くいただいた。農業を志す若者を支援し儲かる農業を支援するための施策として笠形オーガニックファーマーズや鶴居地域活性化協議会の鶴いもプロジェクトなどを実施。</p> <p>No.18 空き家、古民家利用施策の推進</p> <p>平成 30 年度町 HP 掲載の空き家や空き地の成約数は 15 件（売買 13 件、</p>
---------------	--

	<p>賃貸 2 件)。町内 7 人、姫路市から 10 人、明石市から 3 人、神戸市から 2 人、京都から 3 人、長野県から 3 人の計 28 人。空き家活用支援事業は小畑 1 件、東川辺 1 件。</p> <p>No.2 2 町花「ひまわり」などのどかな風景を生かした四季の彩創出 あいている田畑にひまわりを植えていただくという事業をしている。今年度奥区では秋祭りのシーズンに咲くように時期をずらして植えておられた。秋祭りの時期に満開となり、広報の表紙にひまわりと屋台との写真を掲載した。その写真が県の広報コンクール一枚写真の部で佳作となった。</p> <p>No.2 4 若者向け住宅取得等の支援 若者世帯住宅取得奨励金事業の申請数 19 件</p> <p>No.2 7 自然環境などを活かした遊具等の整備 ひょうご地域創生交付金を活用し、スポーツセンタの銀の馬車道公園及びびりフレッシュパーク市川に遊具を設置し、子育て環境の整備を図った。</p> <p>No.2 9 子育て支援環境の整備 平成 31 年 4 月から町内に公立 2 園、私立 1 園の認定こども園がオープン。新設のいちかわ東こども園の完成予定図については別紙参照。</p> <p>No.3 8 地域と連携した公共交通の拡大 利用者数については、コミュニティバスは前年度比 24.8%増の 3,000 人、買い物バスは 2.3%増の 2,200 人を見込んでいる。</p> <p>No.4 5 近隣市町との連携による公共交通の拡大 平成 30 年 10 月より福崎町との連携を実施。</p> <p>No.4 6 観光交流、防災、医療などの連携による地域活性化 市川町・市川町商工会・但陽信用金庫の包括連携協定締結。</p> <p>～質疑応答～</p>
委員	<p>転出者アンケートについて、転出先を把握されているのか？ 兵庫県の転出超過が大きく、関東へ出ていかれているのか、大阪へ出られているのか、そこらも知りたい。</p>
企画政策課長	アンケートに含めていないので、そこまでは把握できていない。
委員	No.18 の 15 件について、世代とか家族構成は把握されているのか？
企画政策課長	年齢層は様々だと聞いている。後ほど集計してお知らせする。
委員	先ほど、転出先は不明ということだったが、窓口での体感としてどういう地域が多いのか分からないのか？
企画政策課長	住民環境課での窓口で手続きやアンケートをしているので、我々の方では分からない。
委員	要は、神戸や姫路、福崎といった、いわゆる通勤・通学圏内がどれくらい出てくるのか。就職でちょっと遠いので転出ということであれば、何か

副町長	<p>対策を講じることに結びついていくのではないか。</p> <p>この点については、予定の転出先は調べれば分かるので、事務局と担当課で協議して調べるように。</p>
委員	<p>前回の会議で、交通の便が悪いということに関して、学校から帰るときに福崎止まりの電車が多く、何か便宜が図れないか、という意見があった。夜の時刻表を見ると姫路駅発が、21時30分、21時58分、22時23分と30分おきにあるが、そのうち21時58分発は福崎止まりである。夜の30分は大きい。29年度、30年度とも区長会でも要望があったが、JR側は乗車率が悪いということで認められなかった。21時58分の便だけでも寺前行きにしてほしいが、経費的に無理ということであれば、2町で協議して対策を講じてほしい。福崎から鶴居まで、あるいは神河町と連携できれば寺前までバスを出すようなことができれば違ってくるのではないか。</p>
企画政策課長	<p>これについては、市川町も神河町もJRに要望はしているが難しい。今後も引き続き要望していくしかないと思う。</p>
副町長	<p>播但線複線電化促進期成同盟会が毎年福知山支社の方に要望に行っている。その中には入れているが、JRとしても経営上のこともあるのでなかなか難しい。</p>
委員	<p>要望の時は、どういうデータを添付しておられるのか？例えば、高校生の数がどれくらいで、どれくらいの方が姫路まで通学している、神戸まで通う人が何人いるとか。</p>
副町長 委員	<p>細かいデータは要望書には付けていない。</p> <p>播但沿線活性化協議会の立場から言うと、以前福知山支社から要望書を見せていただいたが、同じことが書かれているだけで、戦略も工夫もない。もう少し戦略や工夫をしてもらわないと、JRとしても協議できないというのが今の期成同盟会の状態なんです、という話があった。事務局が姫路市から朝来市に代わって、少し変えようという動きはあるようだが、JRは期成同盟会自体が形骸化していると見ている。</p>
委員	<p>転出のところについて言うと、私は福崎町や神河町へ転出された方が何人いるのか気になる。</p> <p>播但線については、3町長が共同で期成同盟会とは別で動くことも必要ではないか。前回の会議での意見を踏まえて、こちらでも播但線のことを来年度の重要施策の項目に入れた。少し乗客が増えたくらいでは全体的に見てもJRは動かないのが現実である。お金を積んでも動かないことが多い。けれども今のように定例のものにしておくのではなく、積極的に動いてみてはいかがか。</p>
副町長	<p>期成同盟会としては沿線の市町の要望が非常に多く、それをひとつにまとめてということ、毎年内容がそう変わらない状態。例えば3町でまとめてとか、細かいデータを付けた上で要望していくとか、方法を考えて</p>

委員	<p>いきたい。事務局は、これを参考に次の要望のときに考えるように。</p> <p>これについては、市川町と神河町 2 町で予算を組まないといけないのかなと思う。お金を持って行っても走らせてくれるとは限らないが。住民意識でどう切に訴えているかどうか、本気度を見られると思うので戦略がないと前へ進まない。</p>
地域振興課長	<p>No.14 農業振興地域整備計画の見直しについて、28・29 年度で見直しを行い、30 年度以降記載がないが、どこまでどう進んだのか、教えていただきたい。</p> <p>市川町は総合見直しを長らく行っておらず、28 年度から農振の見直しと町全体の土地利用計画の策定を実施した。農振は農地を農地として活用するための計画であるが、農地以外の利用に広げていく場所、例えば甘地駅周辺や文化センターから役場にかけてのエリア、主要道路の周辺などについては今回の見直しで外していった。</p>
委員 地域振興課長	<p>農地の捉え方の概念で変わってくると思うが、そのあたりはいかがか。</p> <p>農地に関しては、宅地に隣接しているような農地であれば、それ以外の用途に供する方が適切である場合もある。市川町の場合、ほ場整備の整備率が 50% ほどであり、ほ場整備されていない箇所は農地としての利便性も低い傾向がある。そういうところを整備していかなければいけないという動きもあり、宅地化など農地以外の利用にも誘導していく必要もあるので、そういうことがしやすいようには持っていつている。</p>
委員 地域振興課長	<p>このことについては総合戦略の最初から出ていた話であり、マスタープランのようなものが出てきた方が分かりやすいのではないか。</p> <p>あと農地にも宅地にも関して言えるが、全体的な景観を考慮しなければならない。放棄田のこともあり、ある程度の集約は必要ではないかと思うが、それは含まれているのか。</p> <p>放棄田については全国的に懸念されていることであるが、市川町でも農業を支える人の高齢化が進んでいる。後継者に委ねていくためにも、整備された農地のほうが管理もしやすい。農業委員会としても農地の管理や指導を強化していく必要があると考える。</p>
委員	<p>軟弱野菜などは工場生産に変わってくるのが目に見えている。どれだけ農地で栽培されるかはかなり厳しい。米も軟弱野菜も栽培できなくなり、何で農地を守っていくのか、戦略を組む必要があると思う。後継者不足のこともあるが、研究機関との連携も今後求められるところではないか。研究機関との連携で農地の活用を考えていただければ、研究者が農業に多く入り込み、人の確保もしやすくなるのではないか。</p>
企画政策課長 委員	<p>小野さんにお聞きしたい。農業に企業の参入は考えられるか。</p> <p>農業には参入してくる。ただ、空き工場や空き工業団地には入るが、農地には入ってこないのではないか。</p>

企画政策課長	<p>昨年クボタが、こういう野菜をこうするために機械を作りましょうという話があったが、そういうこともありえるのか。</p>
委員	<p>クボタは主に東南アジアでそういうことをしているので、その点は踏まえておく必要がある。野菜もこれからはどんどん東南アジアから入ってくる。野菜という分野に企業は参入してくるが、農地を求めて参入してこないと思う。農機具メーカーが養父市や淡路でもしているが、試験ほ場的なレベルでしかなく、方針としては日本で実証したものを海外に持っていき海外で機械を売って生産するというやり方。</p>
委員	<p>市川町は国産ゴルフアイアン発祥の地として PR しているが、それを試打するところがない。試打するところがなく、発祥の地として PR していただくだけではだめだと思う。</p>
地域振興課長	<p>最近ようやく自社ブランドのものが出ているが、基本的に町内の事業所は、製造して完成させて店頭で販売するという形式ではない。オーダーを受けてその人に対応したものを製造してはいるが、どこかへ行けばいろいろなアイアンの試打ができて、それを買うことができるというスタイルではない。それに近いことが出来るように、ゴルフまつりではいろいろな事業所のアイアンを出してもらって、試打することが出来るようにはしている。それがいつでもできるようにするのは、かなりハードルが高い。何社かは、試打が出来て自分に合うものを買うことが出来るようになってきているが。それぞれの事業所の特徴を紹介して、いずれにしても行ってもらうなければならないが、行ってもらう試打してもらう仕組み、案内できるシステムを作り上げていきたいと思っている。今はそういうシステムもないのが現状。</p>
委員	<p>マシンは常に進化していくものなので、行政やゴルフ組合のようなものがあっても、それに追いついていけるのかが問題。</p>
地域振興課長	<p>事業所の方と話しても、スピードを測る機械にしても数年で新しいものが出るので、そういうものを陳腐化しないように維持管理していくのにコストがかかってしまう。初期投資が出来たとしても、その後の維持管理のコストもかかってしまうので、マーケットの小さいこの限界ではできないということは言われている。</p>
委員	<p>試打とか言わず販売の方も、業界はやる気があるのか。どれくらいまとまっているのか。</p>
地域振興課長	<p>まとまりという意味では第3回のゴルフまつりに向けて、組織している運営委員会で、それぞれの事業所で1つのプロセスを担当してアイアンを製造するという取り組みに取り組みしており、ジュニア用とレディース用と新たなロゴマークも作って進めている。これまではそういうことが出来る状況ではなかったもので、まとまってきているが、事業所はそれぞれ将来を見据えた取り組みをされているので、その中から統一した方向にもっていくの</p>

<p>委員</p>	<p>は難しいと思う。</p> <p>県の補助金の関係で協同組合を立ち上げようとしているが、2回ほど会議をして出席は8社くらい。株式会社や個人会社など、今のゴルフ製造関係はばらばら。それをまとめるのは大変だが、今話が出ているのは市川のパターンのアイアンを作ろうということと、仕入れを協同組合的なことでしていこうと取り組んでいる。試打は施設的なものがあれば、10メートルほどで試打できれば測定できる機械があるので、そこへ各社のクラブを持ってきてもらって、クラブを選択できるようにしたいなと商工会としても思っているし、町としても目玉となるものとして進めてもらえたらと思う。</p> <p>まとめるのが難しい業界である。そうめん組合は、長さや太さが決まっているが、アイアンは各社で個性がある。神戸や大阪などのイベントに共同で出して行って名前を売っていく、町内でまとまっていく、という2つの方面では動いている。</p>
<p>委員</p>	<p>だいたい何々の発祥の地というところには、行って写真を撮るところがあるが、市川町にはそれがない。アイアン発祥の地に行って何の写真を撮ろうかなとなる、まずそこかなと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>大手メーカーの刻印が入る前のものを、例えば量販店のようなところで売るとするのは、やはり大手メーカーから圧力がかかるものなのか。</p>
<p>委員</p>	<p>大半は、ブリジストンとかダンロップに送ってしまう。三浦技研などは自社ブランドでされているので、皆でやろうと言っても追随しない。あと商工会としてプロゴルファーを輩出できないかと思う。それがアイアン発祥の地のPRにつながるのではないかと、側面からは取り組んでいる。</p>
<p>副町長</p>	<p>楠田委員の意見に関して、産業労働部所管の地域ブランド力強化促進事業の補助金を活用しており、補助を受けるには法人が協同組合を組織しないといけないということで、上野県議の提案もあり、町も商工会も協力して今会議を2回開催したところである。その中でいろんな意見が出ており、例えば材料を共同購入して安く仕入れるとか、市川町のアイアンの材料はこれ、というふうに材料の研究をしたらどうか、などの意見も出ている。そういう意味では組合を設立して県の助成を受けながら1つにまとめていけたら、というところでやっている。町内の業者がこぞって参加してすべきだという意見も出ていたが、組合が設立されれば研究や材料の共同購入など、市川ブランドというものができるのではないかと思っている。広畑課長が申し上げたように、レディースとジュニアのアイアンについては、ゴルフ祭りに焦点を合わせて事業者が役割分担をして製品に仕上げている。</p> <p>ひょうご地域創生推進交付金に入れている拠点施設整備については、こうした動きや意見も踏まえて取り組んでいきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ひまわり畑の創出というのがあったが、瀬加地区、牛尾地区でも何かで</p>

企画政策課長	<p>きないかなと思っている。</p> <p>上牛尾でも植えられたが、目立ちにくい場所であった。植えるだけで管理が十分できていないところもあったかなと思う。来年度は管理についても指導していきたい。営農組合のように1つの田をひまわり畑にするだけでなく、各家に種を配って庭先に植えてもらうのも効果があると思う。</p>
委員	<p>観光協会の中で、まちの駅構想を立ち上げている。市川町の観光スポットや撮影スポットができればいいかなと思っている。</p>
委員	<p>どうせ植えるならもう少し戦略的に植えてほしい。どこで見てほしいのか、が先ではないのか。</p>
企画政策課長	<p>先ほどは奥のひまわり畑を紹介したが、浅野の国道沿いではコスモスとひまわりを同時に咲かせる取り組みをされた。国道を通られる方が記念撮影をされており、そういったところはいいい取り組みだったかなと思う。</p>
委員	<p>コミバスの件で、温泉に行きたいが交通手段がないという電話がかかってくる。近くであればこちらのバスで迎えに行くが、少し遠くなるとそれも難しい。そこでコミバスの紹介をすると、播但線で行くわ、ということになり、播但線が何時にあってどこで降りるのか、よく聞かれる。観光協会にも問い合わせがあるらしい。コミバスが24.8%増ということだったが、今後の展望はどうなっているのか。</p>
企画政策課長	<p>播但線に来て、コミバスに乗り換えて温泉へ行って食事をして帰る、という、あまり知られていない使い方、モデルをもっとPRしていきたい。福崎町との連携バスもあるので、それも合わせてPRしていきたい。乗車券や入浴券の割引などの提案もしているので、よろしくお願ひしたい。</p>
委員	<p>コミバスで行くとサービスがあるのか？</p>
企画政策課長	<p>割引券がある。</p>
委員	<p>センター長、姫路駅で新快速から播但線に乗り換えるときに、間違えて姫新線に乗ってしまったという話を聞く。JRになんとか要望してもらえないか。</p>
委員	<p>確かに、1つの線で2路線というのは珍しい。</p>
委員	<p>間違える人も結構いるようなのでよろしくお願ひしたい。</p>
委員	<p>今月末に、播但線に上がる階段に岩田健三郎氏の版画を展示する。</p> <p>播但線に関して言うと、播但線の中にも、香寺高校、福崎高校の自分たちが思い描く駅ごとの絵を出してもらおうとかしてはどうか。目に見える形で推し進めていくことが必要ではないかと思う。私は姫新線で通勤だが、姫新線の電車の中には、見るたびに変わっている龍野北高校の学生が描いた絵がある。見る方も楽しいし自分たちの電車という感じが伝わってくる。</p> <p>あと、通勤でももっと播但線を使ってもらおうという運動を、商工会や商工会議所と連携してやってみたいかなと思っている。そうすると、先ほど話に出た本数を増やすことにもつながるし、播但線にはまだその価値やポ</p>

	<p>テンシャルがあると思う。長谷駅には申し訳ないが、寺前駅まではやるべきだと思う。</p> <p>それと、前からゴルフの展示、ショールームについては言っているが、町全体の産品を集める物産館のようなものはもう少しはっきりした方がいい。卵かけの卵や笠形オーガニックもあるし、ゴルフをメインにして、そこに置くという考えもあるので、ゴルフ館の中に物産館的なものを併設して、中身としてはトータルにもっていけばいいと思う。ゴルフのことを発信できる場所は明確にすべきだと思う。</p> <p>先ほど「市川の里」で食事をしていたら、後ろで食べていた人に「役場が動かない」と言って話しかけられた。こんなところにもそういう話を聞くことになったのか、と苦笑いをしてしまった。</p> <p>ゴルフの話にしても先ほどの甘地駅の話にしても、目玉の事業を前面に押し出す発信の仕方、スピード感を大事にしていけば、それぞれの取り組みはよく出来ていると思うので、あとはパンチかなと思う。</p> <p>No.39 で、駅施設の環境改善について、私の方でも甘地駅のトイレの改修について要望を聞くことがある。下水道の整備の兼ね合いもあろうかと思うが、甘地駅のトイレには入りたくないという女子高生の声も聞くので、早くにとりかかれるなら是非お願いしたい。</p>
委員	そのことは全体の計画には入ってくるのか。
企画政策課長	はい。
委員	駅全体の整備を考えると 5 年、10 年かかってしまう。トイレ改修はしようと思えば来年にでもできる。できることを先にして全体を考えていくことも必要ではないか。
委員	<p>ひまわりコート千原で宅地が分譲されて何軒か家が建っているが、町外からの転入なのか、子どもさんがいる家庭なのか、お聞きしたい。あと、3 月 23 日に新しい子ども園が竣工するという話があったが、閉園閉所となる幼稚園や保育所の跡地はどうしようと考えておられるのか。スポーツセンターの公園に牛尾さんの彫刻が設置され、遊具も増えて公園らしくなった。平日に行ったときは、何人かの親子も車で来ておられていた。やはり遊ぶ場を求めておられるのではないかと思う。閉園閉所になる各施設の遊具で、まだ使用可能なものがあれば、例えば区長会に出していただいて、設置費は地区が持つということで、利用したらいいのではないかと思う。</p>
企画政策課長	<p>まず、千原の方は 6 区画分譲して現在 4 区画契約済みである。4 区画のうち 3 区画には家が建っており、そのうち転入は 1 家族、転居が 2 家族となっている。人数は合計 11 人。東川辺は 8 区画整備中で、そのうち 1 区画は予約が入っている。その方は 4 人家族で町内のハイツに住んでおられる方である。</p> <p>町内の幼稚園・保育所の跡地については、来年度と再来年度で園舎を撤</p>

	<p>去する計画になっている。その後の利用については地元との協議しながら利用方法を決めていくことになる。その中で遊具については、移転が可能かどうか、使用可能かどうかの調査をしており、使用可能なもの1つはスポーツセンターに移転している。他の移転可能なものについては、撤去に合わせて検討していこうと思う。</p>
委員	<p>もし撤去した遊具を村がもらって、そこで子どもがけがをしたら、町の方で保険のようなものには入っているのか。</p>
企画政策課長	<p>入っていない。移転した遊具でけがをしても、した方の責任になる。</p>
委員	<p>美佐の方にも遊具があるのでお子さんが来て遊んでいるので、そういうことも考えていただけたらと思う。</p>
委員	<p>子どもを連れた親は、子どもの手を放しても目を離さないというのが鉄則である。最近は携帯をさわっている親もいるが、私たちも目を離さないようにということは常に言っている。</p>
委員	<p>千原の空き家が崩れているところ、ひまわりコート我真南、あそこは困っておられるので、民間に開発してもらえばあの辺り一帯が団地のようなになる。そういう仕掛けも、空き家バンクだけではなく役場から民間に委ねるものは委ねてやってもらうという窓口も持ったらいいのではないか。</p>
委員	<p>東京の人だったと思うが困っておられる。屋根も落ちてしまっている。私が農地を預かっており、いずれは取り壊したいがという話をされていた。</p>
委員	<p>私が聞いたのは、今年中になんとかしないといけない、と言って帰られたということ。あと、西田中の方も、なんとかしてほしいと建設業協会から話を聞く。町の方に登録してください、ということの話したが、そういう話が出てきているので、空き家バンクに登録するだけではなく、民間で紹介するような窓口もできたらと思う。</p>
副町長	<p>町の方では危険空き家についての対策として条例改正をしており、周囲に被害を及ぼす可能性があるが壊すべき人がいない場合に、町が代執行できるようにはなっている。しかし相続人がいると、町が取り壊しをすると費用を請求することにはなる。町としてはそういう手段もあるので、またご相談いただけたらと思う。委員長が今言われた民間で紹介して活用してもらう、というのもいい方法だと思う。</p>
委員	<p>農業のことを言わせていただくと、担い手がここ何年かでかなり少なくなってくるのではないかと思う。営農組合も高齢化が進み、営農組合の存続自体も難しくなってくるのではないか。特に瀬加地区は高齢化が進んでいるので、もっと前向きに考えてもらわないといけない。</p> <p>それと、町も考えておられると思うが、特産品化にグループ化が必要ではないか。特産品化するためにはある程度の物量を確保しないといけない。6次化については、対象をしぼって取り組まなければいけない。</p>
企画政策課長	<p>6次化については、市川町の気候風土に合った作物で、ここでしかとれ</p>

<p>委員</p>	<p>ないようなものがあれば、それを推奨して伸ばしていくことができるのではないかと思う。農地はたくさんあるが、農業を志す人が少なくなっているのかなと思う。しかし、前回の会議で出たように、農業高校を卒業した人が、農地がないために普通のサラリーマンになっているということもある。そういう人に市川町の農地を PR できればと思う。</p> <p>新規就農者は野菜が多い。水稻を作っている営農組合は、儲からないのでどうやって維持していこう、という状態なので、新規就農で米づくりをする若者はいない。儲かる農業を目指すのであれば、特価するような作付けの仕方とかこだわったものを作ればいいが、それをグループ化して物量がないと買い手が来ないと思う。営農組合でもそれほど活動していないところもあるので、担い手でやっている人と営農組合とをマッチングして助け合いながらするといいのではないかと。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>おっしゃったとおり営農組合については先が危ういのが目に見えている状況で、農地を守っていくために農業を続けてもらうには、特産品化は必要だと思う。その中で先日委員長にも協力をいただいて、その一步を踏み出そうとしているところである。ここ数年は試作的な取り組みになるが、本格化したときに高齢化が進んでできる人がいないということもありうる。農地を守ってもらう人を呼び込む施策はなかなか難しい。村田委員も新しいことに取り組んでおられるので、先進事例を作ってもらって、農家や営農組合の見本になっていただければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>市川町に CSA (community supported agriculture) を入れてはどうかと話している。グループ化しても作れる量が小さいので、販路を確立しても量を求められたら対応できないので、その答えとして、量は作れる量、種類も農家で作るもの、を消費者にいわゆる前払いで買ってもらうというやり方。例えば消費者は 1 万円払って、中身は農家で作るものをもらうという仕組みで、全国的に 1 件か 2 件の例がある。前払い方式で、農家の収入を確定させた上で、農家の方が安心して、さらに量や種類に左右されずに作ることが出来る。これを市川町でできないかと農林と話している。</p> <p>あとは中間管理、企業参入ということの本格的に考えなければ量を守ることが難しいと思う。中間管理ということであれば地元負担もなく土地改良もできるということなのでやってみてはどうか。</p> <p>先に出た農振の総合見直しはどんなふうになっているのか。私は県民センターへ来る前に農振の担当局長をしていた。初めて企業利用を認めようという方向性は入れたが、農林の方は、面積を守るよう、農地を減らすな、これは農地を守るための制度である、ということを使うと思う。しかし考え方を変えないと仕方がない。農振見直しできちんと直しておかないと、個別に県の許可を取ろうとすると難しくなる。総合的見直しを積極的に使って、5 年ごとに見直しをして、そのときには戦略性的話も含めて思い切</p>

<p>委員</p>	<p>った発想をしていくことが必要。農のサイドからだけ考えていてはだめだ と思う。ただ、虫食いにするのは一番よくない。播但道の近くなので使える だろう、ということではなく、具体的に新しい企業が来ると言っていた 話が農振のために進まなかったということがあれば、話をしていきやすい と思う。</p> <p>野菜に関して言うと、ここ数年の間に物流が変わったと思う。大手量販 店でも物流費がかさんで成り立たない、新店オープンしても人が集まらな いということになっている。で、どうなるかという出店先でなるべく確 保する、という大きな転換期になってきている。物量を大きくすることも 必要だが、物量が少なくても商いできるチャンスは出てきていると思う。 とにかく労働力がない、運賃が高すぎる、という状況。産地化しようとする と、やはり加工場の近く。加工場のないところで産地化しようとするの は非常にエネルギーがいると思う。産地に向かっているのか、量販店向け でいくのか、新しいものを作るのか、地産地消でいくのか、の選択が必要。 つまり市川町の野菜をどこで売るのか、の意志のなかで生産していくこと が必要だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>私の方からは情報としてひとつ話をしたい。昨年放送された NHK の番 組。過去のデータを入力し、AI の専門家が今後の日本の課題について考 えるというもの。そのときのテーマが健康寿命をどうやって伸ばすか、とい うことであった。一般的には、食事、運動など思い浮かべるが、AI が出し た答えは、本や雑誌をよく読む人は健康寿命が高いということだった。本 をよく読む人は、健康的な要素である食事に気を付ける、運動をする、な どの行動にも共通しており、逆に、不健康な要素は全くなかったという検 証結果であった。健康寿命が最も高かった山梨県では、人口に比べて図書 館の数が多いということだった。このような本を読める環境を整備するこ とにより、高齢者の医療費抑制につながるという人もいた。教育観点から 読書の習慣がある学生は学力の伸びが大きい、という調査結果も出ている。 大学の論文においても、本を読んで書いたものは、パソコンで調べたもの より優れていることが多い、と言われている。社会においても、年収の高 い人の共通点は、よく本を読んでいるという調査結果もある。健康寿命の ことを踏まえても、幸せな人生を送るためにも、本を読むことは大切であ ると感じた。ただ、このようなことが分かっても、いろいろな世代に習慣 づけることは次の課題であると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>ほかに教育関係で何かないか。津田議長もマラソンを通して子どもたち と多く関わっておられるので、そのあたりいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>市川町ではどんどん少子化が進んでおり、小学校では町内全体でも各学 年が 100 人に満たない状態。スポーツに対する関心も低くなっており、ス ポーツクラブへの参加者数も減ってきている。最近はゲームをする子が増</p>

	<p>えており、ゲームをする子の学習能力が低いということをテレビでもしていたが、市川町においても外で遊ぶということの指導を各学校にお願いしてほしいと思う。</p>
町長	<p>明日の総合教育会議で、先ほどの石田校長の話と津田議長の話をしていただく。</p>
委員	<p>農業を教育に使えないか、心の教育に使えないかという話もある。農業体験で土を触ることによって、人間の心にどれだけ影響を与えるのか、これから検証していく必要がある、ということを農水省が言っている。その検証をしようとしており、これは田舎ならどこでもできることなので、こういうことに手を挙げていくと研究者が来て、農業をしながらカルチャーとして農業をしていくことも将来的に出てくる。</p> <p>今後の農業では微生物というのもキーワードになってくるだろうということも言われていた。</p> <p>阪本さん、情報の流れが変わってきていると思うが、ここでも町が HP の閲覧数を掲げているが、情報に関して町へのアドバイスのことをお願いしたいが。</p>
委員	<p>全体的な話になるが、中播磨センター長の農業の前払い制度の話をおもしろいなと、この町がモデルになるんだな、と思った。我々新聞社も、スタートアップの支援というのをしている。全国の起業家の方々が、いろんなアイデアはあるがスケールしていかない中で、具体的にスケールするところを手伝いながら兵庫県内に定住していただく、就労していただくということをしている。先ほどの前払い制度の流通のところを安価で担えるような形をウェブやネットでやっという起業家がおられる。兵庫県内の 3 市町で小規模ながら始めようとしている人達がいる。その人たちをつなぐことで、情報もそうだが、対面で得られる情報、瞬時に広がる情報もあるので、瞬時に広がるとこれまで商圏ではなかった人たちに対しアプローチできるということになってきている。我々もそれを支援していこうと投資もしながら 3 年ほどやっている。そのあたりとつなぐことができなと思う。</p> <p>グローバルということと言われるが、自分たちの町の良さを知った上でグローバルに話ができないとだめだということもあり、これは教育と密接につながっている。読書をする、活字に触れるというところは言わずもがなであり、高校、小中学校でどのようにやっという具体的な手法の話に踏み込んでいかないといけない。その手法についての議論をする時間をとる必要があると思う。インターネットは瞬時の情報発信として大事であるし、比較もできるので便利であるが、気を付けなければいけないのは、アンケート調査の結果とかの場合、分母がどれくらいなのか、ということ。分母が 200 や 300 でしていることもあるので、分母がどれくらいな</p>

	<p>のか、ということを見なければならぬ。</p> <p>(2) ひょうご地域創生交付金事業 市川町駅施設等環境整備事業について</p> <p>配布資料「市川町駅施設等環境整備事業甘地駅・鶴居駅周辺まちづくり基本構想の策定について【概要説明】」「基本構想」に基づき説明</p>
委員	<p>駅舎の利用が気になる。「チャレンジショップ」もいいと思うが、田舎の方であまりしていない駅舎の利用として、共同事務所というのもある。起業された方や、例えば経理を一括に請け負う事務所など。起業して事務所を持つと経費がかさむので、そこでいくらかの対価を得ながら電話やメールのやりとりをする事務所が駅舎にあってもいいのではないかと思う。</p>
委員	<p>「銀の馬車道」という単語が基本構想の中で1箇所しか出てこないのが弱い。周辺状況を分析した部分も含めてもう少し入れてほしい。</p> <p>社基プロの話だが、甘地の方は社基プロに入れたいが鶴居の方は入れないということは、鶴居の方は1億円未満を想定しているということか。</p>
企画政策課長	<p>鶴居は、県道長谷・市川線があるが、その県道までの改良は計画には入っていない。駅前の整備だけになっている。</p>
委員	<p>のんびり感はあるが、勉強会もする中で次の社基プロには入れてもらえると思う。あえて言うと、この“スイーツランド”というのは、どこかで聞いたことがあるような、あまりリアル感がないような感じがするが。</p>
企画政策課長	<p>市川町に結構甘いものはあるので、それを一堂に集めてそこで食べられるようにしようと考えている。</p>
委員	<p>スイーツランドという言葉が、あまりにも使い古された陳腐な言葉だなという印象。もう少しパンチというか惹きつけ感の問題かと思う。</p>
津田委員	<p>この中には住宅地の展開といったことがないが、住む人が増えないと駅の利用も増えないと思う。市川町で特に言われているのが、住宅地がないということ。それをに入れて計画はされないのか。</p>
企画政策課長	<p>鶴居に関して言うと、鶴居幼稚園の跡地を宅地化して分譲できる可能性もあるが、具体的には決まっていない。今の基本構想には入っていないので、今後そういった意見も取り入れて計画していきたいと思う。</p>
委員	<p>甘地駅には北からの引き込み線（線路）がある。福崎は南からの引き込み線があり、福崎止まりがそこで待機することができる。北からの引き込み線は時々工事車両が止まっている程度のことなので、これを何かに活用できないかと思う。</p> <p>今のパークアンドライドの台数をもう少し増やしてほしいなということ、町外の人が見えるようにしてほしいと思う。無料で。八千代や多可町</p>

<p>副町長 企画政策課長 委員</p>	<p>の方から来て電車を利用しようとする人も少ないがあると思うので、使えるようになればと思う。真ん中のスペースも民間であればもったいないくらいのスペースなので何か考えられないかと思う。</p> <p>今パークアンドライドの利用率はどれくらいか。10台以上あるのか。</p> <p>はい、10台はあると思う。</p> <p>平日はあいているが、土日は多くなっている。乗車率を上げるためにはある程度思い切った取り組みも必要だと思うし、町のものを町外の人に、という意見もあるがそこは割り切りも必要ではないかと思う。</p> <p>ここには含まれていないが、レンタサイクルのことも是非入れてほしいと思う。</p>
<p>企画政策課長 委員</p>	<p>駅で切符販売の方がもう少し何かできるのではないか。例えば駅に店を作った時に、レジなど兼業してもらえないかと思っている。</p> <p>JRは人は置かない方向で考えている。福崎も切符販売に人は置かず、どんどん人を減らしていっているので、無人駅になるのは目に見えており、それは難しいと思う。</p>
<p>企画政策課長 委員</p>	<p>できるだけ無人駅にしないように、仕組みができないかと思う。夜遅くなると治安が悪いという話があるので、そこらも解消できたらと考えている。</p> <p>個人的なことを言うと、高架ではなく地下通路を掘ってほしいと思うが。自転車でも車いすでも行けるような。ヨーロッパの観光地はほとんどそうになっている。JRもこれから変わってくるだろうと思うのが、民間会社の列車がJRの線路を走るようになってくると思う。イギリスでも3社の列車が同じ線路を走っており、時間帯と列車によって値段が違っている。近々そういうことになると思うので、それにどう対応した駅舎にしていくのかも考える必要がある。</p>
<p>企画政策課長 委員</p>	<p>また他に何か意見があれば、3月1日からのパブリックコメントに入力していただけたらと思う。</p>
<p>委員 企画政策課長</p>	<p>来年度でいったん計画（総合戦略）は終わるということ。</p> <p>来年度で、この5年間の検証を行い、次の5年に向けての見直しをする予定である。またそのときはよろしくお願ひしたい。</p>
<p>2 閉 会</p>	